

科目名	救急救護学特別研究			分野・必選別・単位数	専門科目	必修	6単位
担当教員	◎教授 國府田洋明 教授 小菅宇之 教授 橘田要一 教授 茂呂浩光 教授 大滝恭弘 准教授 藤崎竜一 講師 高梨利満 講師 酒本瑞姫 講師 菊川忠臣 講師 高山祐輔 助教 沖園義藤 助教 水戸部政美					科目ナンバー	T5C111
課程	修士	配当年次	2年	配当学期	通年	授業方法	演習
授業の概要	研究指導担当教員の個別指導の下、研究テーマの設定、研究デザイン作成、データ収集及び分析、結果の提示と解釈、修士論文作成、学外発表を行う。						
授業の到達目標	①自らの問題意識から明確な研究課題を抽出し研究計画書を作成できる。 ②研究課題から実施可能な作業仮説を作ることができる。 ③研究課題に従って適切な研究デザインを作成し実施できる。 ④データを分析し、口頭発表、論文作成ができる。						
授業計画	回数	担当者	行動目標				
	<b>【研究テーマ】</b> (1 國府田洋明)救急救護政策・行政、災害・防災危機管理等 (2 小菅宇之)救急救護医学等 (3 橘田要一)災害・防災危機管理、救急救護医学等 (4 茂呂浩光) 救急救護教育指導、救急救護政策・行政等 (5 大滝恭弘)救急救護政策・行政、災害・防災危機管理等 (6 藤崎竜一)救急救護医学、救急救護教育指導等 (7 高梨利満)災害・防災危機管理、救急救護教育指導等 (8 酒本瑞姫)災害・防災危機管理等 (9 菊川忠臣)救急救護教育指導等 (10 高山祐輔)救急救護教育指導等 (11 沖園美藤)救急救護教育指導等 (12 水戸部政美)救急救護教育指導等  <b>【行動目標】</b> 4月 論文作成の開始 論文題目・研究計画書の提出 ・研究課題、研究計画を検討し、研究課題名と研究計画書を提出する 6月 論文作成のための研究会 ・論文の方向性をまとめる 8月 論文作成のための研究発表会 ・学内研究発表会で研究成果について発表する 10月 論文作成のための研究会 ・学外研究発表会、発表指導と研究指導と学外学会発表の準備 11月 論文研究成果の学会での発表 ・日本臨床救急医学会等の学会発表 12月 学位論文の提出 ・研究題目を最終調整し、学位審査申請をする(最終期限:1月第2金曜日)						
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	研究に関する文献を十分に読解すること。 その他、各指導教員が随時指示する。					
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、参考書等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。					
	【必要時間】	当該期間に90時間以上の予復習が必要。					
教科書	特になし						
参考書	各指導教員が随時指示						
成績評価の方法および基準	研究計画30%、課題報告・発表20%、研究発表会や学会発表20%、口頭試問30%						
その他履修上の注意事項	入学時ガイダンスで履修指導、教務担当教員の紹介など「救急救護学特別研究」の内容について、説明する。 研究論文に関わる教育は、1年次の「保健統計学」及び「救急救護学研究方法演習」の授業で研究論文の基本的教育を実施する。 1年次に倫理教育「eLCoRE」を受講し、修了していること。 1年次の2月に、論文指導教員の中より自分の研究に最も適した指導教員を選択し届け出などについて、説明する。 試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 カリキュラムマップのDP2、DP3、DP4が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。						